

止まり木



生徒10カ条 その⑩

「ありがとう」感謝の気持ちを忘れない



今日の全校集会でいよいよ生徒10カ条の10番目、最後となる”「ありがとう」感謝の気持ちを忘れない”についてお話ししました。4月当初から、この10カ条が全部できればすごいことだよ。とみんなに伝えながら、時にはみんなが実際にできていることやアニメなどの一場面を通じて、こういうことなんだというのを具体的に説明してきました。それはせっかくの生徒10カ条が飾りになってほしくなかったからです。そして今日いよいよ最後の10番目となりました。

まず、「ありがとう」の意味ですが、「めったにない」「めずらしい」を意味する「有り難し」という言葉が語源であるといわれています。「ありがとう」は有難しの連用形「有り難く(ありがたく)」がウ音便化したものであるといわれています。

では、日本以外の国では「ありがとう」を何と言うのでしょうか?みんなにも聞いてみましたが、よく知っている言葉と知らない言葉があったようです。以下、少し紹介してみます。

英語で「ありがとう」はサンキュー Thank you。スペイン語でグラシアス Gracias。

フランス語でメルシー Merci。ドイツ語ではダンケ・シェーン Danke schön。

中国語(北京語)でシェシエ 谢谢(xièxie)。韓国語でカムサハムニダ 감사합니다。と

本当にいろんな言葉があります。そんな中で校長先生が日本語の「ありがとう」の次に好きな言葉がベトナム語です。ベトナム語ではありがとうのことをカムウン Cám ơnと言います。発音は「カムオン」「カムウン」の中間くらいでしょうか。英語の「come on(カモン)」と同じように発音しても伝わるようです。また、漢字の「感恩」が由来していると言われ、これが校長先生が好きな理由なのです。他の国のありがとうも恩を感じるという意味が多いように思います。このように「ありがとう」は恩を感じた時に使う言葉です。人から優しくされたり、優しい言葉をかけてもらったり、ありがたいなあとか嬉しいなあと思ったときに出てくる言葉です。感謝の気持ちを一番ストレートに伝えることのできる言葉です。みんなは1日のうちに何度ありがとうと言ってますか?また、何度ありがとうと言われてますか?校長先生は昔から1日最低でも1回は「ありがとう」「ありがとうございます」と言える心の余裕を持てるようにしようと思ってきました。また、逆に1日1回は人から「ありがとう」「ありがとうございました」と言われるような言動ができるように心がけてきました。「ありがとう」言っても言われてもお互いが幸せになれる、うれしい気持ちになれる、まさに「奇跡の言葉」です。こんな奇跡の言葉が横堤中学校にあふれることを祈っています。



ところでM-1見ましたか?ワールドカップ決勝見ましたか?中には、M-1からのワールドカップと眠れない夜を過ごした人も多かったのではないのでしょうか?どちらも本当に盛り上がりましたね。あんな風にたくさんの人をワクワクさせたり、感動させたり、思いっきり笑顔にさせたりできる人を校長先生は尊敬するとともに、うらやましくも思います。自分にも何かそんなことができるように努力していきたいと思います。